

No. 27 AAさん	22歳（男性）
I. 前就労期（学歴、職歴、生活習慣、対人行動、気持ち）	
<ul style="list-style-type: none"> 小学生の頃、落ち着きがなく、そそつかしい子だった。スポーツはまるでだめであった。 AD／HDと診断された。社会史が好きで本ばかり読んでいた。 中学に入るとドッジボールや鬼ごっこなど体を動かす遊びも好きになった。 中学の先生に普通科ではなく福祉の専門高校にいくことを薦められ、親とも相談しそちらに進み、高卒後2年の福祉専門学校にすすんだ。 	
II. 未就労期（きっかけ、生活習慣、対人行動、気持ち、継続要因）	
<ul style="list-style-type: none"> 病院に就職して5ヵ月後、父の死がもとで、仕事をする意欲をなくし退職。またその1ヶ月後には祖母を亡くし、何もする気がなくなってしまった。 友達に「何かバイトでもしたら」といわれ、スーパーの農産部門で7ヶ月働いた。 「父の死をいつまでもズルズル引きずっていてはだめだ」と自ら思い、母とも相談し塾に入ることを決めた。 	
III. 被支援期（きっかけ、支援内容とその長短、影響や変化、気持ち）	
<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者とともに1ヶ月半、園芸、陶芸、シイタケ栽培、ぶどう栽培などの職業訓練を行なう、知的障害者と接することで自分自身学ぶことは多かった。 後半はデイサービスの手伝いをした。 塾のスタッフは皆やさしく、親身になって接してくれた。 	
IV. 現在（就労のきっかけ、気持ち、成長可能性、今後の考え方）	
<ul style="list-style-type: none"> もともと福祉系の仕事を希望していたので、ハローワークで特養老人ホームの介護職員の仕事を探し採用された。 母・弟と離れ働きながら一人で暮らしている。 5年後を目標にケアマネージャーの資格をとり、それを機会に家に帰ろうと思う。 50歳をめどに教員免許をとることを目標にしている。 	